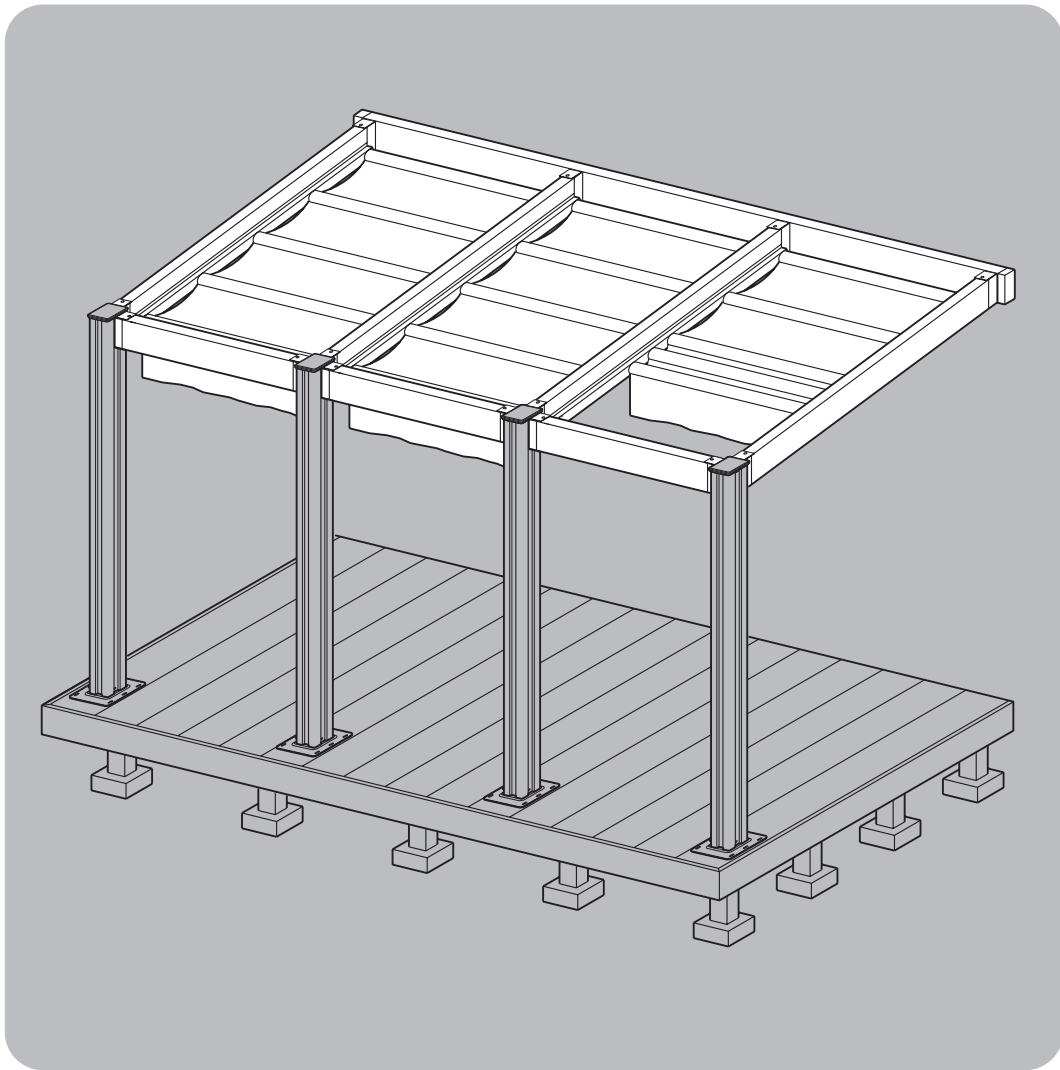


リコステージⅡ キャンピー

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、施工してください。

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、一般住宅の地上階、またはリコステージⅡに取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- ・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
- ・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。
- ・キャンピーは柱芯々で1200mm以外には設置できません。
- ・取扱い説明書を確認の上、施工場所の気象条件(風・雪など)にあった製品かどうかを確認してください。
- ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置に取付けてください。

●施工前の調査について

- ・施工前に地下埋設物(給水管など)に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

●製品の保管について

- ・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
- ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。

■施工上のご注意

●基礎について

●組立施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。

●取付け時の足場について

- ・取付け時は必ず足場を設け、施工者の転落などがないようにしてください。

●部材の固定について

- ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中緩まないように締め付けてください。

●施工終了後について

- ・施工終了後はキャンピーの開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

▲ 注 意

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・躯体への漏水の原因となりますので、シーリングは指定箇所には必ず行い、外壁の上から部材を取り付ける場合はコーキング材を充填してからネジ止めをしてください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} / \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て・施工のお願い

- 組立て・施工は専門業者が行ってください。

- 製品の施工については、必ず取付け説明書に従ってください。

- 水平、垂直は水準器などで正確に出してください。

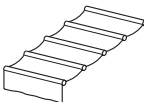
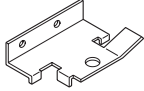
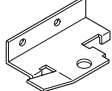


- 当社指定の付属部品以外は取付けしないでください。

- 施工中についた、汚れや傷について



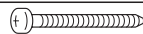
- ・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。施工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- ・施工についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

梱包明細表

【1】 本体セット

名 称	略 図	員 数	
		7尺	9尺
キャノピー本体		1	1
ストッパー本体A		2	2
ストッパー本体B		2	2
レールエンドカバー		4	4
エンドストッパー		2	2

【1】 つづき

名 称	略 図	員 数	
		7尺	9尺
エンドストッパー座		6	6
φ4×10トラスタッピンネジ3種		6	6
φ4×32ナベ特種ネジ		9	9
取付説明書 <C235> ※1	-	1	1
取扱説明書 <UC005>		1	1

※1 キャノピーの施工には、取付説明書 <C235> は使用しません。

【2】 キャンピーレールセット 7尺・9尺

名 称	略 図	員 数	
		7尺	9尺
レール		2	2
φ4×19ナベピラスネジ		7	11
取付説明書〈MAL-250〉	-	1	1

【3】 垂木掛セット 2スパン・3スパン

名 称	略 図	員 数	
		2スパン	3スパン
垂木掛		1	1
垂木掛端部カバー		2	2
φ4.5×63木ネジ		7	9
フィッシャープラグ S6		7	9
φ4×10ナベピラスネジ		4	4

【4】 垂木掛化粧材セット

オプション

名 称	略 図	員数
垂木掛化粧材		1
φ4×25ナベピラスネジ		7

【5】 桁セット 7尺・9尺

名 称	略 図	員 数	
		7尺	9尺
キャンピー桁		1	1

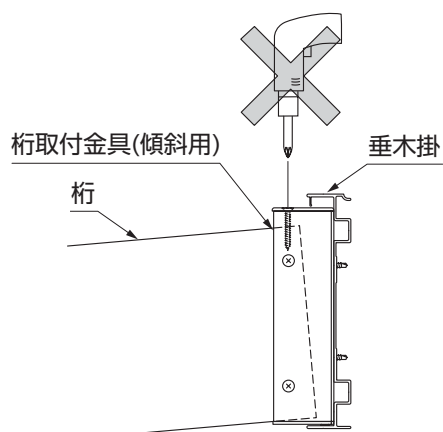
【6】 桁連結金具(傾斜用)セット

名 称	略 図	員数
桁取付金具(傾斜用)		1
桁受け金具		1
桁取付金具キャップ		1
φ4×25ナベピラスネジ		2
φ4×13ナベピラスネジ		2
φ4×20特サラタッピンネジ2種		2
φ4×30サラタッピンネジ1種		1
φ4×19ナベピラスネジ		4

【7】 桁連結金具セット

名 称	略 図	員数
桁取付金具		1
桁受け金具		1
桁取付金具キャップ		1
φ4×25ナベピラスネジ		2
φ4×13ナベピラスネジ		2
φ4×20特サラタッピンネジ2種		2
φ4×16サラタッピンネジ1種		1
φ4×19ナベピラスネジ		4

施工時の重要確認事項

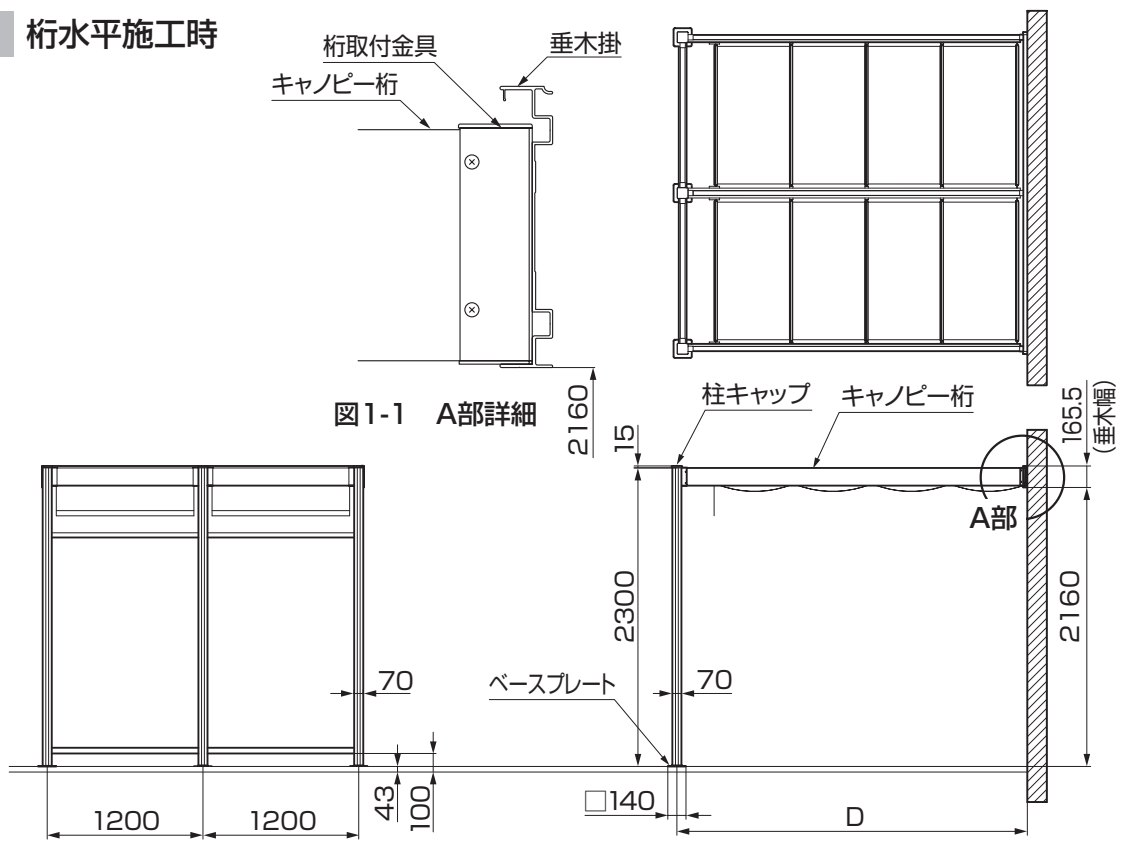


- 桁取付金具キャップを取り付けるとき、電動ドライバーにより締め込みすぎると割れるおそれがあります。

基本寸法・各部名称・取付け順序

1 基本寸法と各部名称

1-1 桁水平施工時

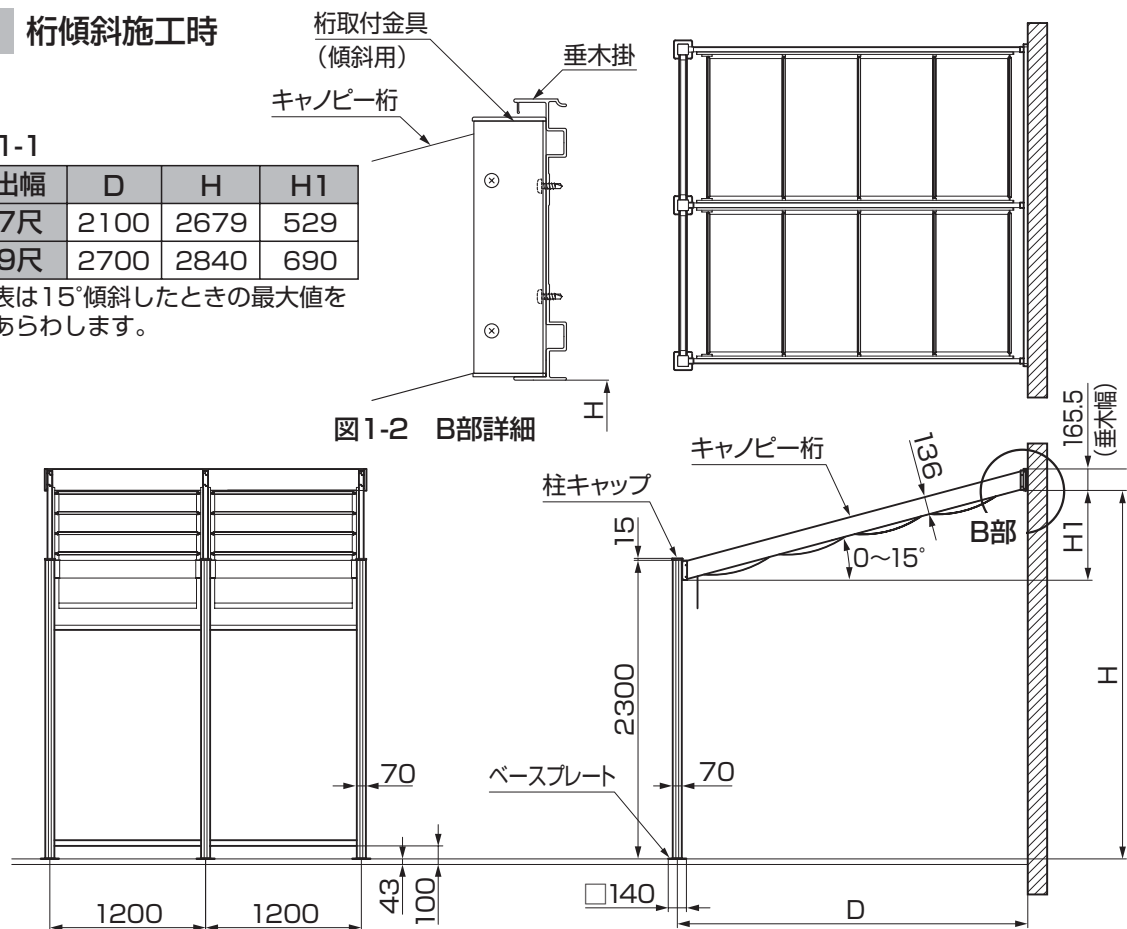


1-2 桁傾斜施工時

表1-1

出幅	D	H	H1
7尺	2100	2679	529
9尺	2700	2840	690

※表は15°傾斜したときの最大値をあらわします。



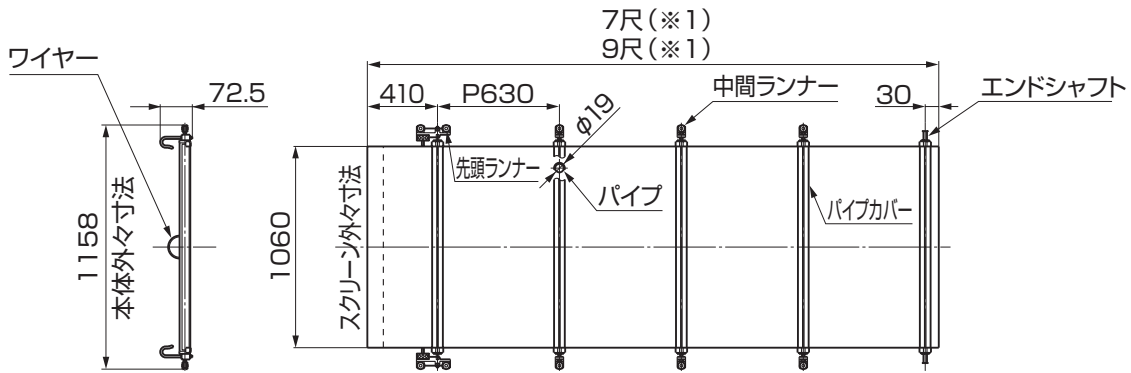


図1-3 キャンピ基本寸法図

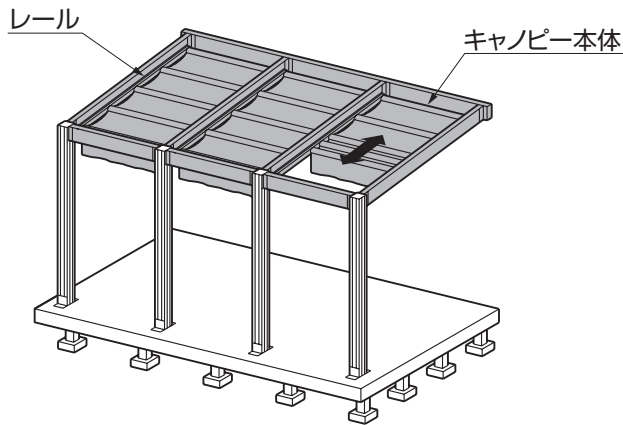


表1-2 キャンピ全長寸法(※1)

出幅	寸法内訳	合計
7尺	3P+410+30	2330
9尺	4P+410+30	2960

2 主柱側の桁連結金具(傾斜用)取付け

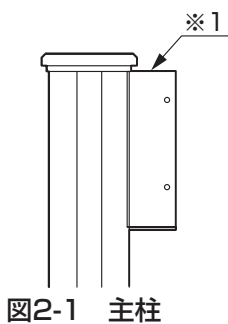
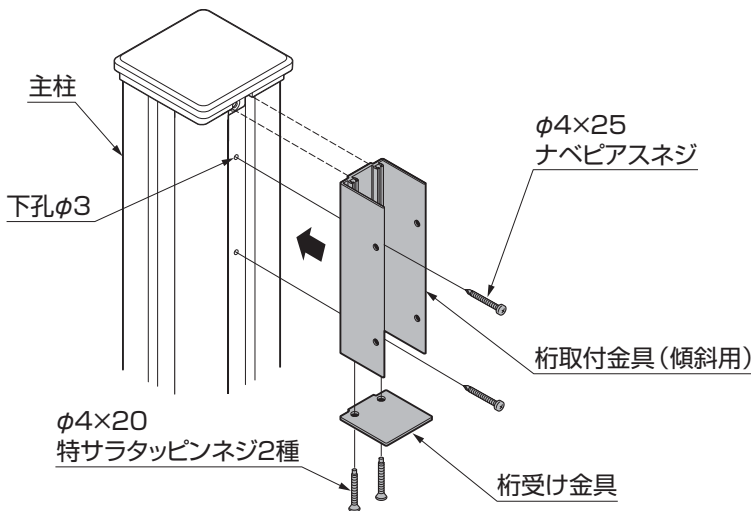


図2-1 主柱

① 桁受け金具を桁取付金具(傾斜用)下部に、φ4×20 特サラタッピンネジ2種で取付けてください。

② 桁取付金具のネジ孔にそって、主柱にφ3の下孔をあけて、桁取付金具を主柱に、φ4×25 ナベピースネジで固定してください。

※柱キャップの下端部と桁取付金具の上面をあわせてください。(※1)

3

垂木掛の加工と取付け

● [] は桁取付金具 (傾斜用) の寸法です。

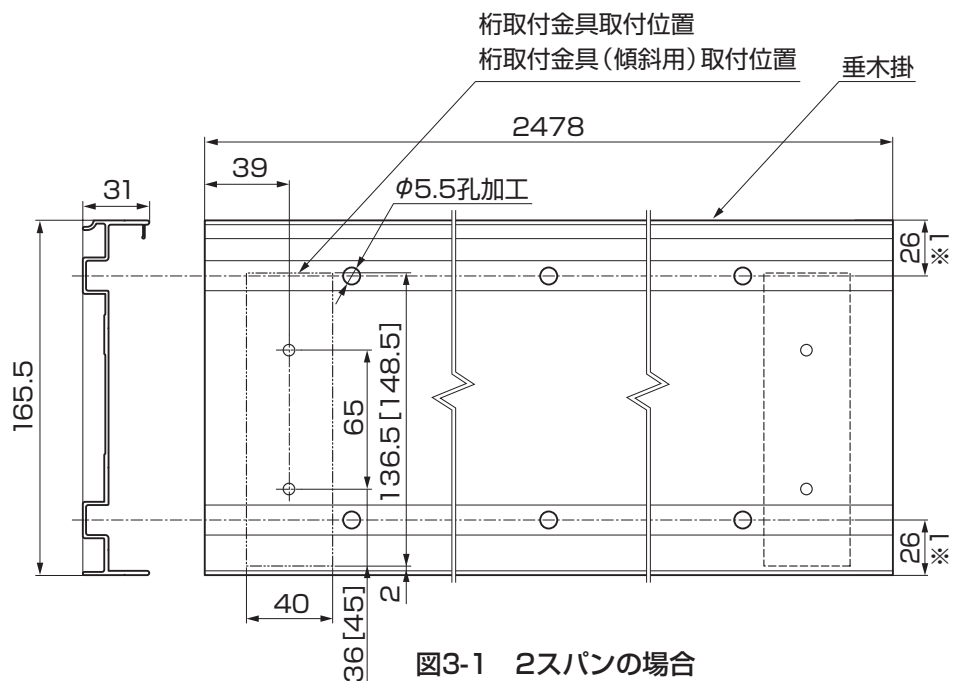


図3-1 2スパンの場合

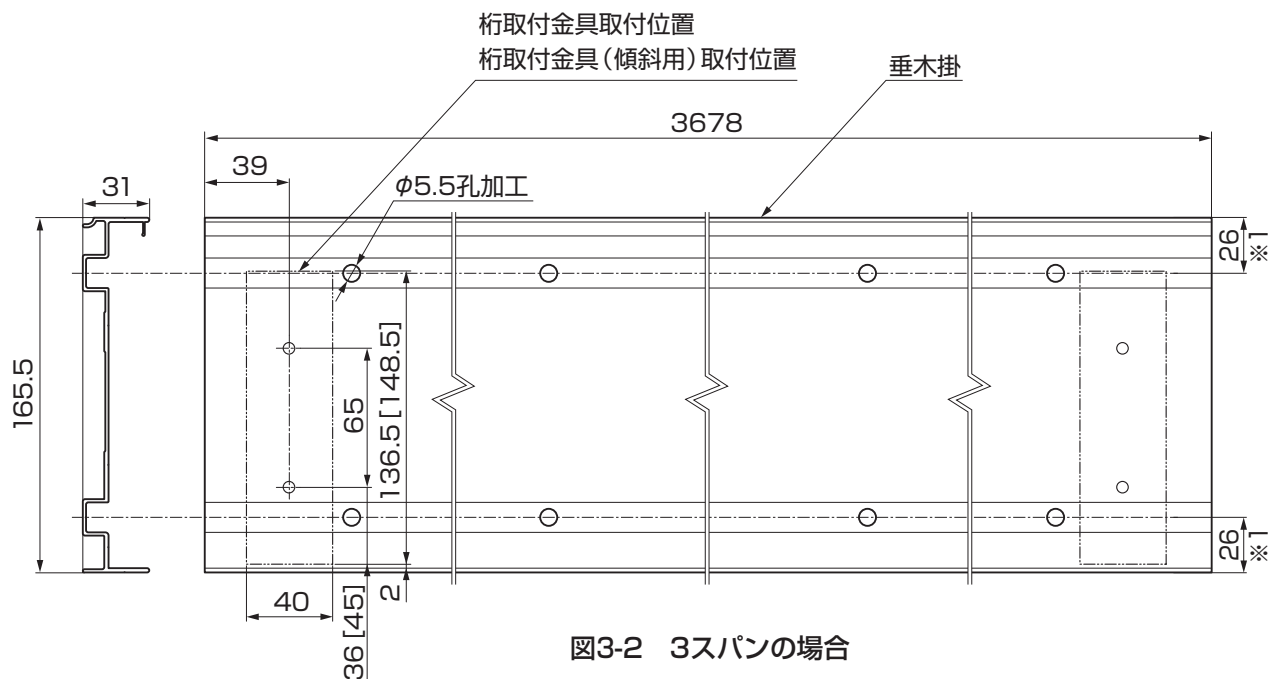


図3-2 3スパンの場合

①垂木掛に孔加工をしてください。(図3-1参照) (図3-2参照)

※垂木掛孔加工は必ず躯体の柱、間柱などの構造材に合わせてください。

※ ※1指示寸法上に、V溝があります。

●図は、垂木掛3スパンを示しています。

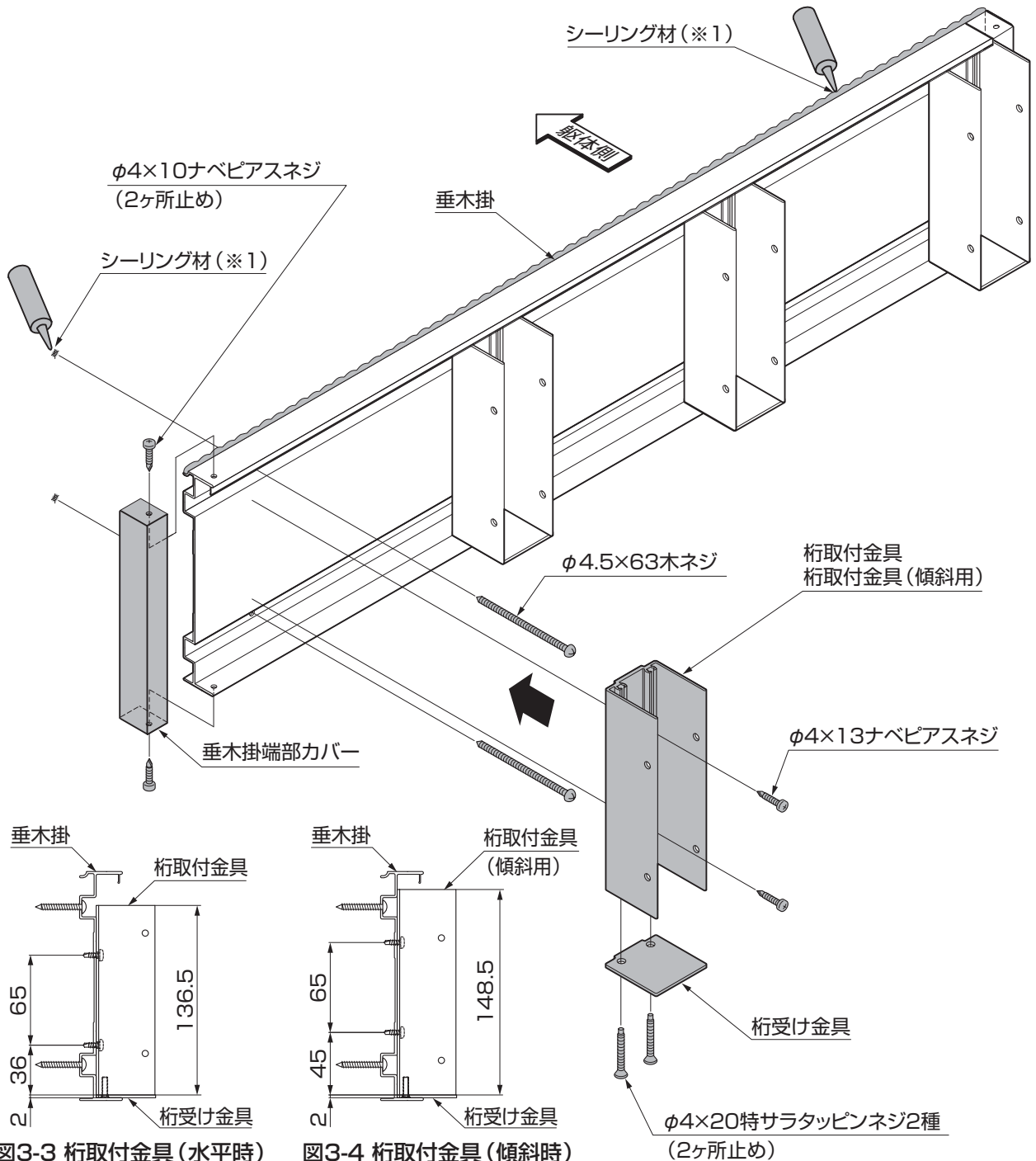


図3-3 桁取付金具 (水平時)

図3-4 桁取付金具 (傾斜時)

- ①垂木掛を躯体に、 $\phi 4.5 \times 63$ 木ネジで取付けてください。
- ②桁受け金具を桁取付金具に、 $\phi 4 \times 20$ 特サラタッピンネジ2種 (2ヶ所止め) で取付けてください。
- ③桁取付金具を垂木掛に、 $\phi 4 \times 13$ ナベピアスネジで取付けてください。(図3-3、図3-4参照)
- ④垂木掛端部カバーを垂木掛に、 $\phi 4 \times 10$ ナベピアスネジ (2ヶ所止め) で取付けてください。
- ⑤躯体にシーリングしてください。

※垂木掛の水平・垂直に注意してください。
 ※指定の箇所に必ずシーリングをしてください。
 ※シーリング材は現場で手配してください。(※1)

4

垂木掛化粧材の加工 オプション



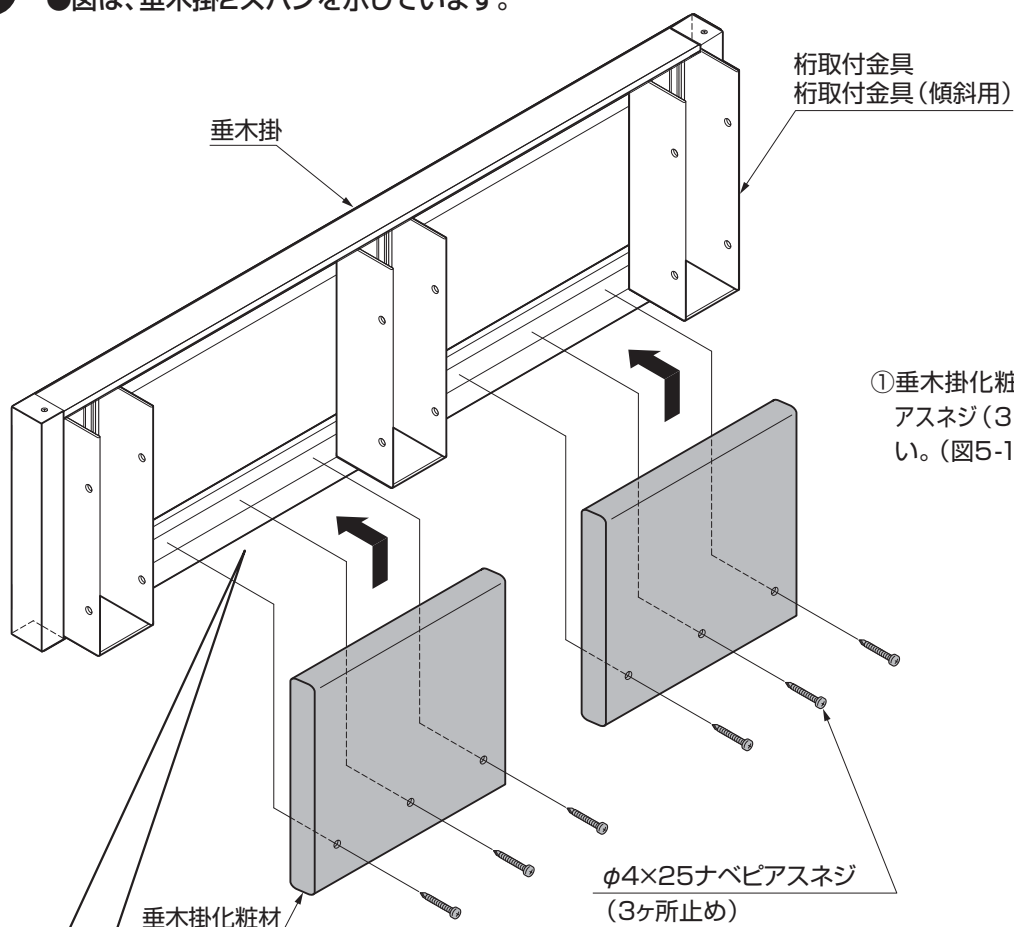
図4-1 垂木掛化粧材の孔あけ

①垂木掛化粧材に、孔加工をしてください。
(図4-1参照)

5

垂木掛化粧材の取付け

●図は、垂木掛2スパンを示しています。



①垂木掛化粧材を垂木掛に、φ4×25ナベピアスネジ(3ヶ所止め)で取付けてください。(図5-1参照)

図5-1

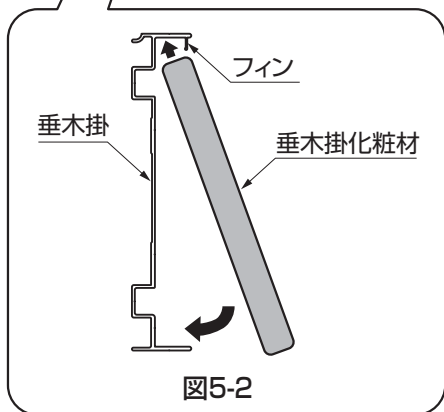


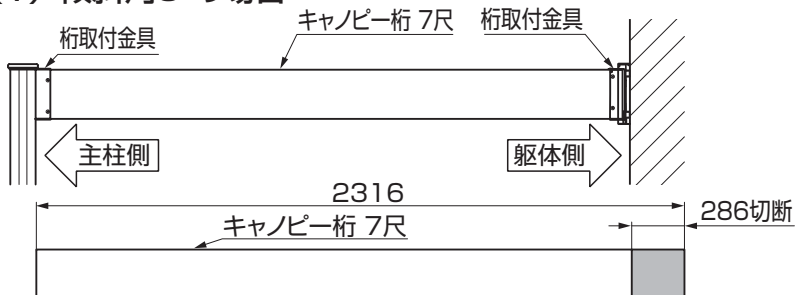
図5-2

※垂木掛化粧材上端部を垂木掛のフィンに納めてから、φ4×25ナベピアスネジ(3ヶ所止め)で固定してください。(図5-2参照)

6 桁の加工

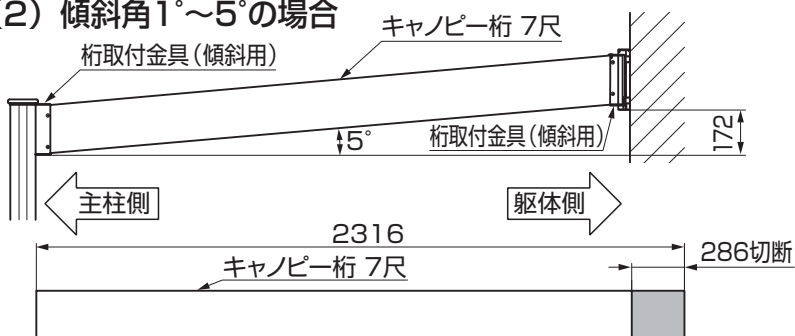
6-1 7尺桁の加工

(1) 傾斜角0°の場合

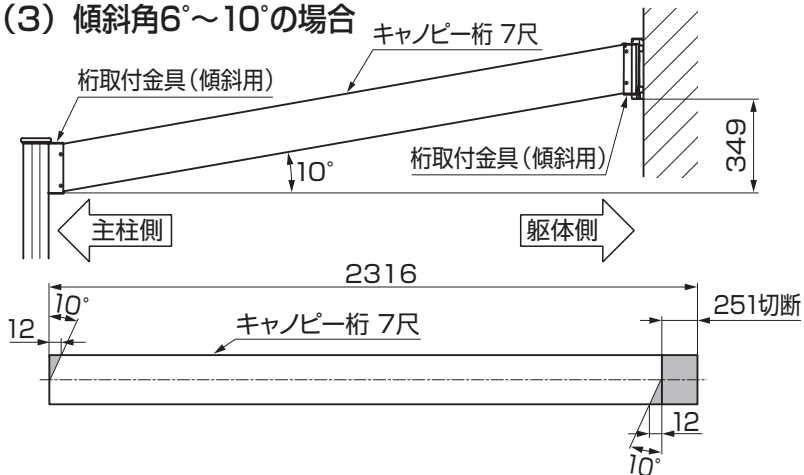


①桁を図のように加工してください。

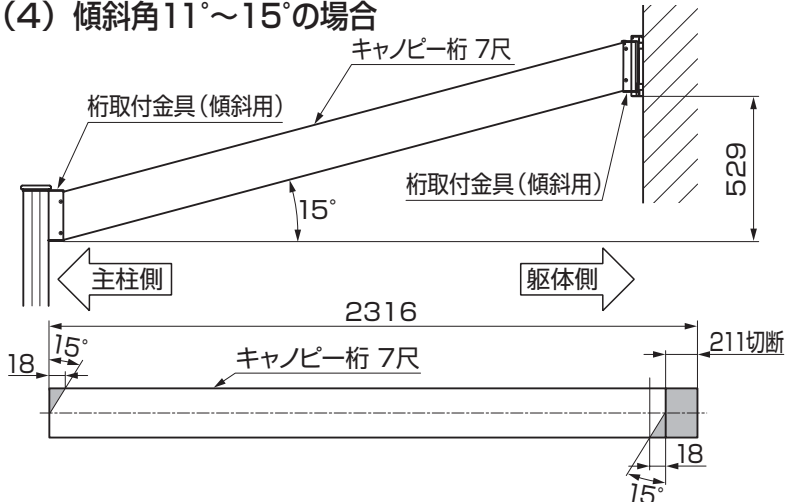
(2) 傾斜角1°~5°の場合



(3) 傾斜角6°~10°の場合

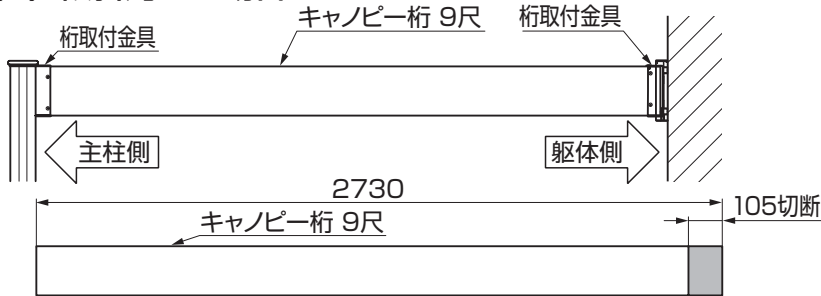


(4) 傾斜角11°~15°の場合



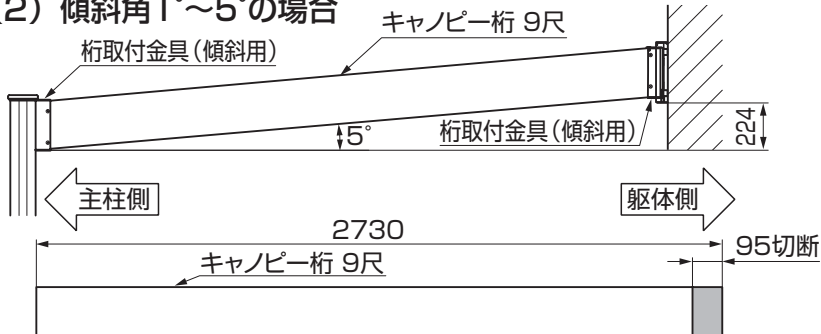
6-2 9尺桁の加工

(1) 傾斜角0°の場合

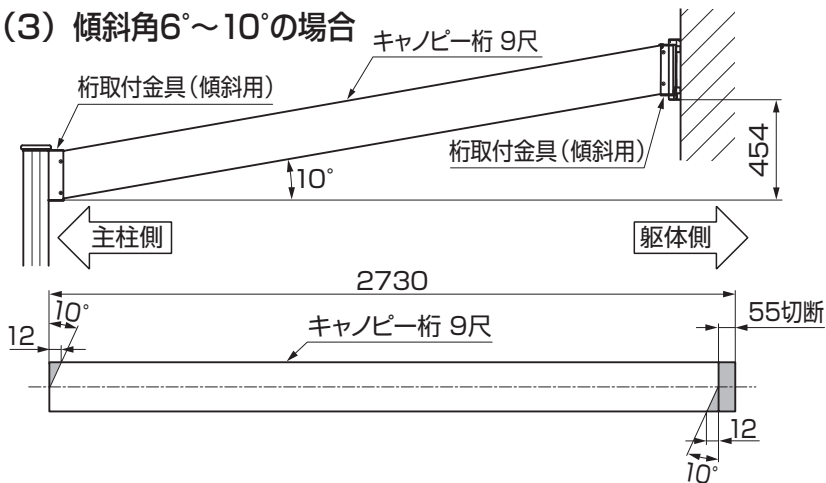


① 桁を図のように加工してください。

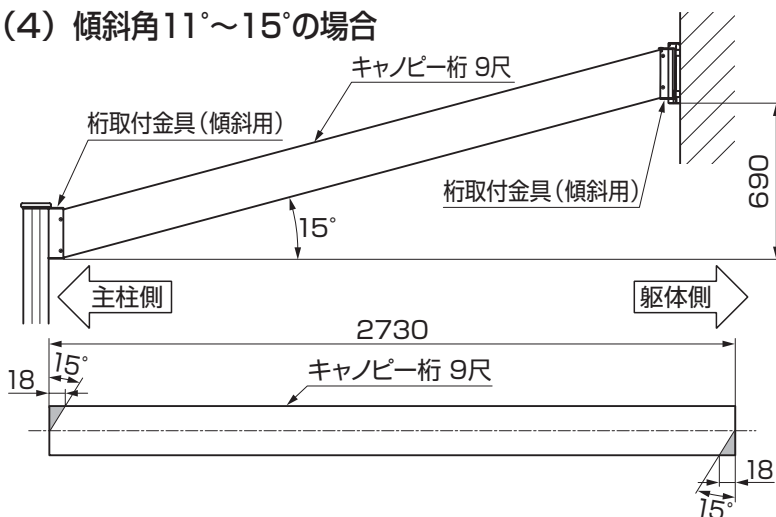
(2) 傾斜角1°~5°の場合



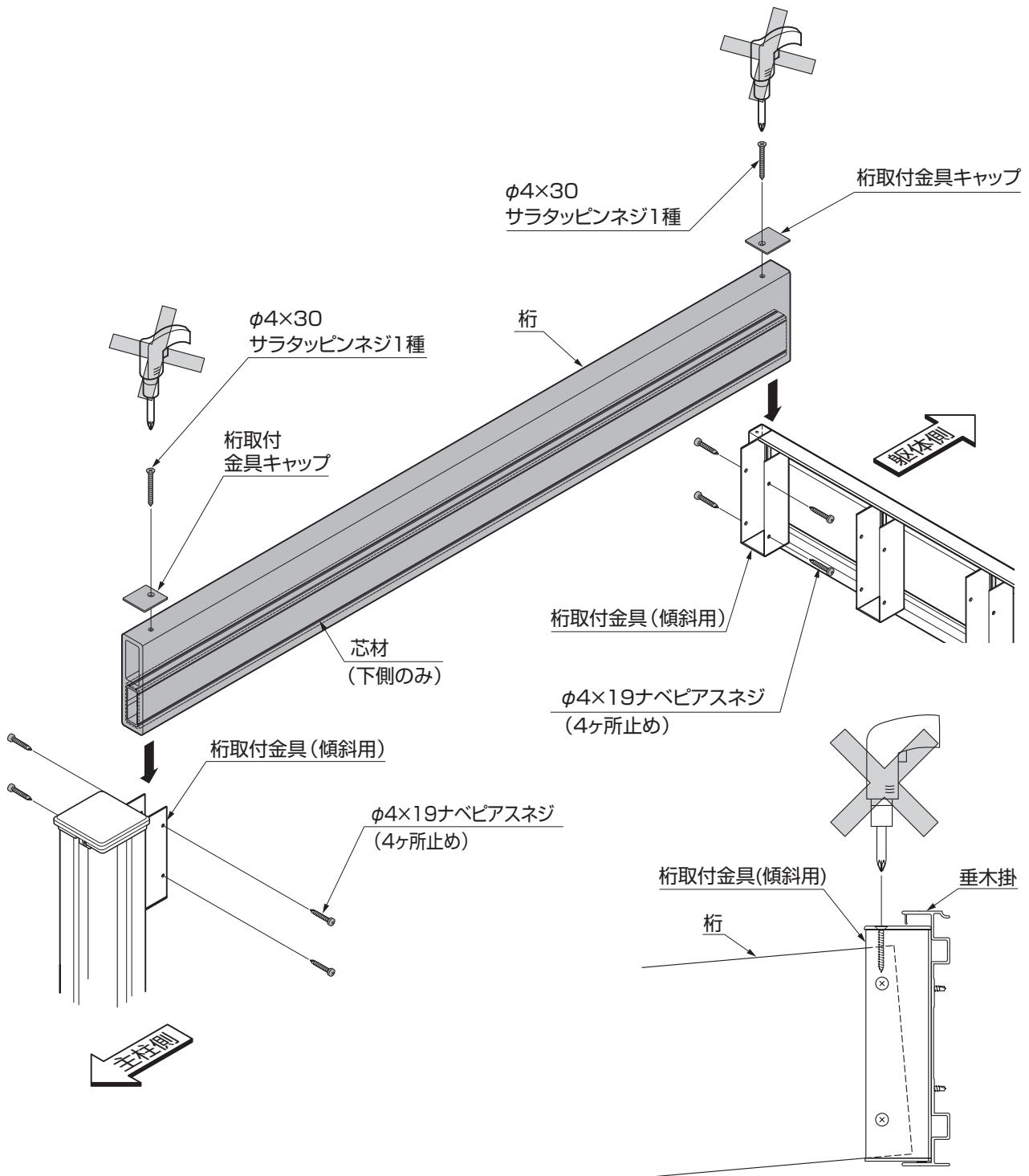
(3) 傾斜角6°~10°の場合



(4) 傾斜角11°~15°の場合



7 桁の取付け



- ① 桁を桁取付金具に取付けてください。そのとき、芯材が下側になるように取付けてください。
- ② 桁と桁取付金具 (傾斜用) を、φ4×19ナベピアスネジ (4ヶ所止め) で固定してください。
- ③ 桁取付金具キャップを桁取付金具 (傾斜用) に、φ4×30サラタツピンネジ1種で取付けてください。

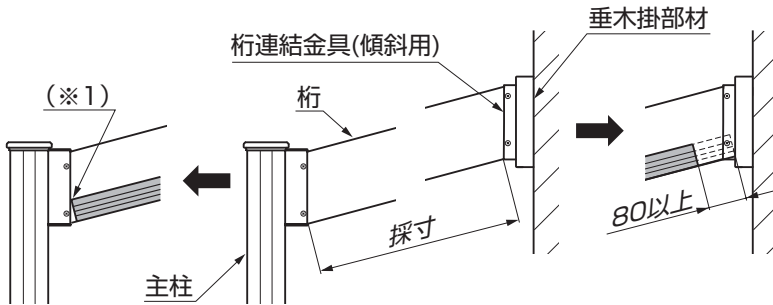
※芯材は、桁の端面に合わせて取付けてください。

※桁取付金具キャップを取付けるとき、電動ドライバーにより締め込みすぎると割れる恐れがあります。

8

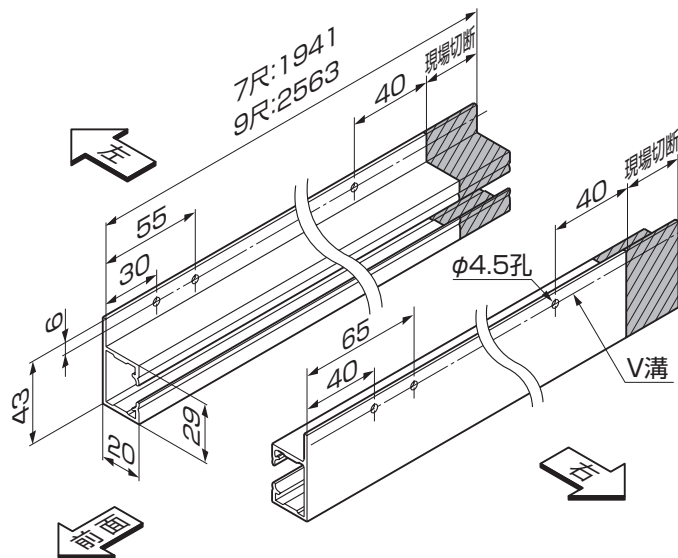
レールの切断と孔加工

8-1 レールの切断



- ①金具の内々寸法を、採寸してください。
- ②レールを、採寸した寸法にあわせて切断してください。
- ③図のように、レールを前側の金具へ突き当て(*1)、後側が80mm以上空くようにレールを切断してください。

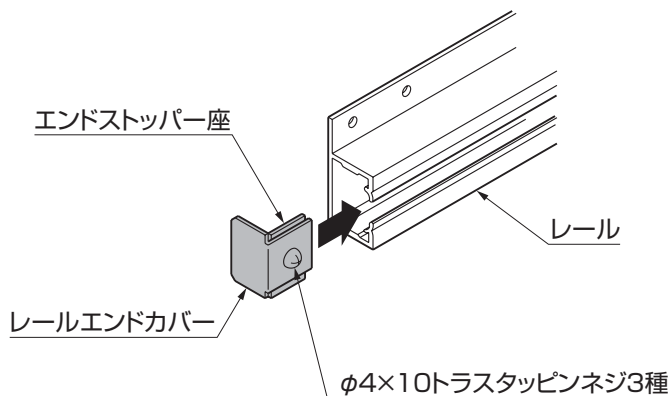
8-2 レールの孔加工とレールエンドカバーの取付け



- ①図のように、V溝にφ4.5の孔をあけてください。
- ②①であけた孔の間に、下表を参考にして、同じ間隔でφ4.5の孔をあけてください。

サイズ	7R	9R
孔数	2	3

※左右で孔加工が変わります。加工時に注意してください。



- ③レールエンドカバーを、レールの前面に固定してください。

9

本体およびストッパーの取付け

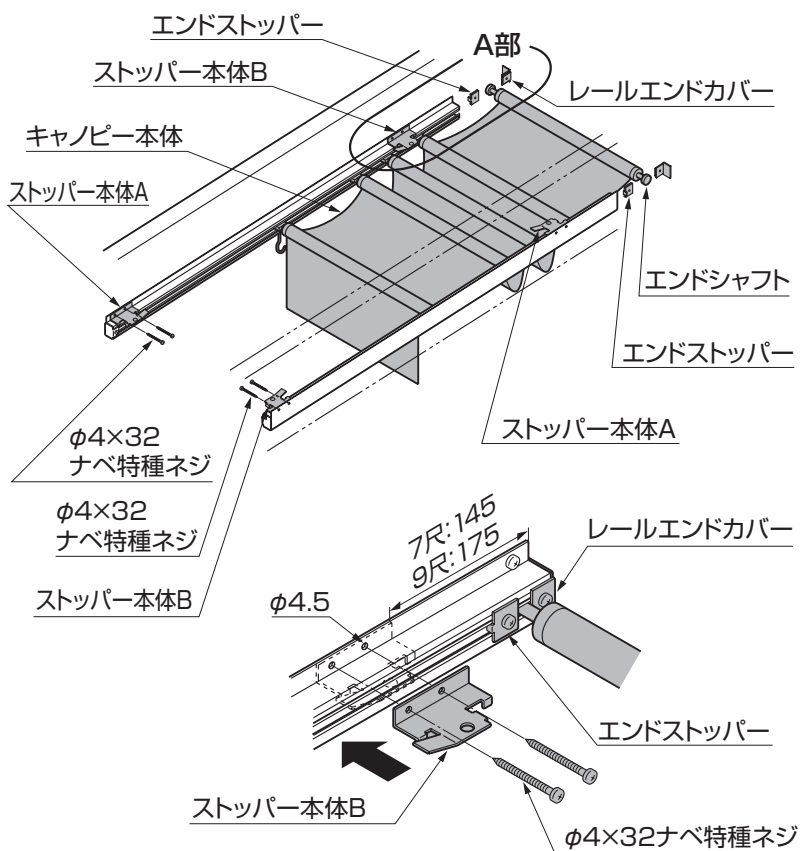


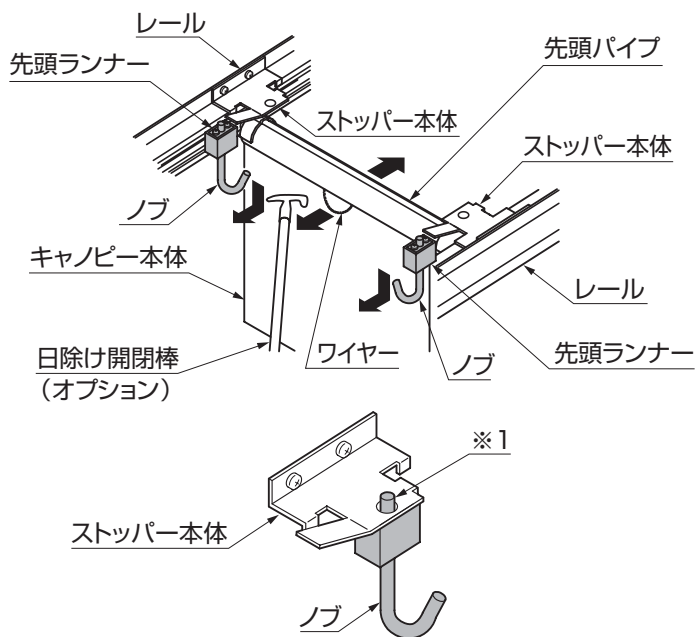
図9-1 A部詳細

- ① 図のようにレールの背側から本体を挿入してください。このとき、先頭のランナーのノブが下になるようにしてください。
- ② エンドシャフトを挿入する前に、エンドストッパーを向きに注意して挿入してください。
- ③ エンドシャフトを最後に挿入して、レールエンドカバーを取付けてください。
- ④ エンドストッパーを、エンドシャフトが動かないような位置で固定してください。
- ⑤ レール前側の「8. レールの切断と孔加工」で加工した孔に、ストッパー本体A・Bを固定してください。
- ⑥ 後側には位置出しをして、φ4.5の孔加工をした後、ストッパー本体A・Bを固定してください。(図9-1参照)

※ストッパー本体A・Bを取付ける向きに注意してください。

10

キャノピーの作動確認



- ① ノブを下に引き下げて、ストッパー本体から先頭ランナーを外してください。
- ② 先頭パイプ中央のワイヤーを使って開閉してください。
- ③ 外側端のストッパーに、先頭ランナーのノブをおさめてください。

※引き出した時、または折りたたんだ時に、両端のノブがストッパー本体に確実に入っている(※1)ことを確認してください。
※必ずワイヤーを使って開閉してください。キャノピー本体が破損するおそれがあります。

MAL-250
ZJ79
2007年3月1日発行



商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

